

科目名		35. 医療的ケア II		
担当講師	深澤 みはる	実務経験の有無	○有・無	
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開講学年	2 年生 前期	
評価基準	筆記試験			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療職と連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する ・介護の場における医療的ケアの必要性を理解する 			
回	講義内容			方法
1	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順①</u> 喀痰吸引で用いる器具・機材とそのしくみ、清潔保持			講義
2	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順②</u> 口腔内吸引・鼻腔内吸引の技術と留意点 1			講義
3	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順③</u> 口腔内吸引・鼻腔内吸引の技術と留意点 2			講義
4	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順④</u> 気管カニュレ内吸引の技術と留意点 1			講義
5	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順⑤</u> 気管カニュレ内吸引の技術と留意点 2			講義
6	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論①</u> 消化器系のしくみとはらき			講義
7	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論②</u> 消化・吸収とよくある消化器の症状			講義
8	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論③</u> 経管栄養法とは・注入する栄養剤に関する知識・経管栄養実施上の留意点			講義
9	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論④</u> 子どもの経管栄養について・経管栄養に係る感染と予防			講義
10	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑤</u> 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意			講義
11	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑥</u> 経管栄養により生じる危険 注入後の安全確認、急変・事故発生時の対策と事前対策			講義
12	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説①</u> 経管栄養で用いる器具・機材とそのしくみ、清潔の保持			講義
13	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説②</u> 経管栄養実施手順と留意点、経管栄養に必要なケア			講義
14	<u>高齢者および障害児・者の経鼻経管・胃ろう・腸ろう経管栄養の実施</u> 技術と留意点			講義・演習
15	テスト・まとめ			試験
テキスト・参考書	最新介護福祉士養成講座 15 医療的ケア 配布資料			